

令和4年度新たな資源管理システム構築促進事業のうち
国際資源の管理体制構築促進事業のうち操業管理・海外漁場情報活用事業
実績報告書

住所 東京都中央区豊海町4-5豊海振興ビル6階
国際資源操業管理・海外漁場情報活用事業
共同実施機関 代表機関
一般社団法人漁業情報サービスセンター
代表者 会長 和田 時 夫

1 事業の実施状況

ア 調査項目及び調査対象

令和4年度国際資源の管理体制構築促進事業のうち操業管理・海外漁場情報活用事業仕様書に基づき事業を実施した。

イ 事業実施機関

令和4年4月1日～令和5年3月31日

ウ 事業の成果（又はその概要）

A マグロ漁船VMS運用・漁獲報告等関連業務

- (a) (一社) 漁業情報サービスセンターは、代表機関として事業全体の調整・監督・指導を行った。
- (b) カツオ・マグロ漁業の操業秩序及び安全性確保の観点から、独自に開発したカツオ・マグロVMSシステム（Vessel Monitoring System）を用いて漁船の位置等情報を24時間リアルタイムで収集し、航行・操業実態の把握及び安全情報の調査・情報収集を行った。
また、サーバ及びパソコン端末OSのWindows Upload、サーバ用アンチセキュリティソフトのライセンス更新を行い、システム機器のセキュリティ管理と運用を行った。
- (c) カツオ・マグロVMSシステムによる漁船毎の位置情報の有無を確認し、その結果を報告状況日報として関係機関・関係者に自動配信した。報告に不具合が発生した場合または位置情報が突然途切れた場合は、その調査・原因究明およびVMSシステムの点検を行うとともに、カツオ・マグロVMSシステムから得られた漁船の位置情報を地域漁業管理機関へ当該機関の指定する方法で報告した。
- (d) 水産庁担当部局及び漁業団体の担当者と調整しながらスムーズにシステム運用されるよう、運用支援と監督・指導を行った。
- (e) 2023年10月のサーバOSサポート期限切れに伴う、システムのクラウド移行について、担当部局、JV構成員及びPMOとの協議により、政府情報システムのためのセキュリティ評価制度（Information system Security Management and Assessment

Program: 通称、ISMAP（イスマップ））で認められたクラウドサービスであるAWSを利用して構築することとし、方法とスケジュール等について概要を取りまとめた。

B VMSシステム運用管理等関連業務

- (a) (株)キュービック・アイは、遠洋底曳網漁船だけでなくイカ釣り/さんま漁船を対象として、以下を実施した。
- ① VMS情報収集システムの運用
 - ② 地域漁業管理機関（NAFO/SEAFO/CCAMLR/NPFC）の定めるVMS情報の収集通報システムの運用
 - ③ 水産庁のクライアントサポート
 - ④ 漁業者への漁船位置情報提供システムの運用
 - ⑤ 船舶データ入力及びシステム運用
 - ⑥ クラウドホスティング/サーバライセンス/システム保守
 - ⑦ RFMO対応等VMS改修業務として、RFMOへのデータ送信モジュール（VTcat）の改修
 - ⑧ NPFC, SIOFA, CCAMLR, NAFO, SEAFOでのVMS議論に関するサポート業務
- (b) また、カツオ・マグロ漁船VMSシステムでは、以下を実施した。
- ① RFMO対応等VMS改修業務として、WCPFC-まぐろVMS比較ツール改修、ICCATネットワークトラブル対応（原因調査・手動データ送信）、WEB日報改修版導入、インマルサットメール受信経路変
 - ② WCPFC, IOTC, ICCAT, IATTCでのVMS議論に関するサポート業務
 - ③ AWS移行調査
 - ④ 許可船名簿による船舶情報データ更新
 - ⑤ 水産庁、清水事務所、JAFIC間で運用しているVPNネットワークについて、その運用・保守
 - ⑥ VMSソフトウェア保守
 - ⑦ 社外サーバの運用
- (c) 2023年10月のサーバOSサポート期限切れに伴う、システムのクラウド移行について、担当部局、JV構成員及びPMOとの協議により、政府情報システムのためのセキュリティ評価制度（Information system Security Management and Assessment Program: 通称、ISMAP（イスマップ））で認められたクラウドサービスであるAWSを利用した移行後の構成図を作成し、方法とスケジュール等について概要を取り決めた。